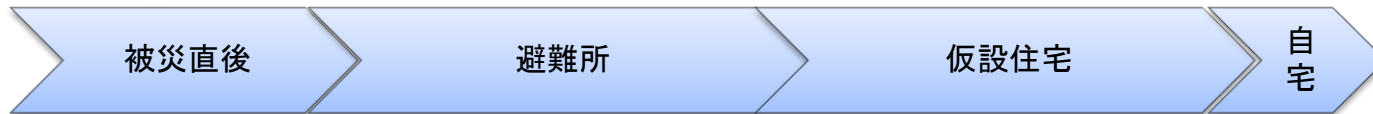


東日本大震災被災者の 健康状態等について

東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査研究（概要）

主な調査内容



被災者の健康状態等に関する調査

・慢性疾患等

・メンタルヘルス(PTSD等)

(※)生活習慣病、エコミーナス症候群、生活不活発病等も含む
(※)被災者の避難状況(避難所の体制等)についても把握する

調査実施体制

国立保健医療科学院

(※)国立保健医療科学院の統括の下、各県ごとに調査を実施する

①班 岩手県

②班 宮城県・仙台市

③班 福島県

④班 アドバイサーグループ

構成: 大学、行政、関係機関等

役割: 調査を実施

- ・④班のデザインした調査を実施(=各県共通調査)
- ・その他独自に調査を実施することも可能
- ・④班への参加、意見出しをする

構成: 行政、国立研究機関、各分野の専門家等

役割: 調査デザインを検討

- ・①～③班の行う調査への協力
- ・専門的なアドバイスの提供

「東日本大震災被災者の健康状態に関する調査研究」

「石巻市雄勝・牡鹿地区の被災者の健康状態」の調査結果（概要）

平成23年9月22日公表

調査対象

- 宮城県石巻市の雄勝地区・牡鹿地区の18歳以上の被災者を対象に調査を実施。
18歳未満の受診者については、現在分析中。

	調査期間	対象者数	受診者数	平均年齢	男女比
雄勝地区	6月下旬	1708名	564名	62.6歳	45:55
牡鹿地区	8月上旬	1301名	835名		

主な調査結果のポイント

1:「健康診断の結果」

健康診断(※)の結果、被災者の状態は、一般の人と比べて異常値の出現頻度に特段の特徴はなく、身体的な健康は保たれていた。

※: 血圧、尿検査、血液検査(赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、HbA1c、総コレステロール、肝機能、クレアチニン、尿素窒素)、聴診(心音)、身体測定、握力測定

2:「アンケート調査の結果」

- 震災により、高血圧等の慢性疾患や歯科疾患等、中断した医療があった。
- 食事回数は保たれていたが、喫煙や飲酒については、震災後に摂取量の増えた人が若干名見られた。
- 比較的睡眠時間は確保されていたが、睡眠障害が疑われる人の割合は42.5%と、一般の人に比べて高くなっている。
- 一般の人に比べ、不安や抑うつ症状が認められる割合も高かった。震災の記憶についても、「思い出してしまう・夢に見る」、「思い出すと動揺する」とした人が3割を超えた。